

教育研究データ			
1. 氏名	岩下 康子		
2. 生年月	1968年3月		
3. 取得学位	教育学士 経営大学院修士 (MBA)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2018年	・広島県内の外国人労働者を調査し、ワークショップ型体験授業の教材を作成した。地球市民共育塾のワークショップで実践し、県内各地の高校生、大学生が参加してフィードバックをもらったことをもとに修正を加えた。	
	2020年	・オンライン授業の研鑽を積み、対面非対面の授業の可能性について研鑽した。	
	2021年	・県立広島大学と連携した地域学習を行い、学生を引率してフィールドワークなどを実施し、その報告書をまとめた。現在もこの地域学習は継続している。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022年	・グローバル人材育成教育学会にて、「ベトナム人技能実習生の帰国後キャリア」に係る実践発表を行った。	
	2023年	・本学冬期FD・SD研修会にて、「東南アジアで異文化に出会うLCIC留学」と題して、発表した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年 月	発行所
『変容する移民コミュニティ』移民・ディアスポラ研究9	共著	2020年	明石書店
『広島発「技能実習生事件簿」スクラムユニオン・ひろしまの闘い』	単著	2021年	文芸社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年 月	掲載紙および巻/号, 頁
コロナ禍の外国人労働者の現状と課題	単	2021年3月	文教グローバル第5号
技能実習法における監理団体の考	単	2021年12	広島文教大学紀要第56巻

察		月	
広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例制定に向けて	単	2022年3月	文教グローバル第6号
技能実習生のキャリア形成—技能実習を修了したベトナム人の調査を通して—	単	2022年5月	移民政策研究 Vol.14 査読あり
フィリピン英語留学に関する一考察——ラプラプセブ国際大学における留学調査から——	単	2022年12月	広島文教大学紀要 57号
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
技能実習生の帰国後キャリアの一考察		2019年5月	移民政策学会 立教大学
基調講演「持続成長実現に向けたアジアの課題」		2019年10月	グローバル人材育成教育学会第5回中四国大会 本学
技能実習生と多文化共生 8回連載		2021年6月	中国新聞緑地帯 掲載
(4) 所属学会			
1. グローバル人材育成教育学会			
2. 移民政策学会			
3. 多文化関係学会			
4. 開発教育協会			
5. 地球市民教育塾ひろしま 理事役員			